



# 和(輪)のまちだより

発行日	2019年(平成31年)1月1日
編集・発行	第四地区住民自治協議会 総務部会
印刷	有限会社 長野プリントサービス

☆第四地区は「諏訪町」「西後町」「県町」「南県町」「妻科」「新田町」の6町で構成されています☆

## 明けまして おめでとうございます

平成31年元旦



第四地区住民自治協議会会長  
(西後町区長)  
横田 悦二郎



新年明けましておめでとうございます。

第四地区にとって昨年度には屋台ギャラリーや後町ホール completion 及び県立大学の開校に伴う象山寮ができ、懸案だった第四地区災害時備蓄倉庫も設置されましたが、その一方で長年使われて来た第四地区の公民館、第四分館の閉館等、第四地区の歴史に残る大きな出来事がいくつもありました。しかし、いずれの出来事も住民の皆さまの協力のおかげで、全ての事業が「将来に向けた新たな一歩」を踏み出す活動とすることが出来ました。

今、地方、特に地域の自治活動は少子高齢化の波を受け、「今まで通り」の「今」だけで済ませたいという時代は終焉を迎え、「積極的に将来に向けた行動をしなければ、その地域は衰退し、『魅力のない街』になる時代」になりつつあります。昨年度まで第四地区住民自治協議会は、新しく第四地区にお住いになった方や、現在お住い

の皆さまに対して、楽しく安心して暮らして頂けるように「第四地区の魅力の『見える化』」を積極的に推進し、様々な活動を行なって参りました。しかし、第四地区は、他の地域にはない「素晴らしい魅力を持つ地域」です。これからはその魅力を他の地域の多くの皆さまに知って頂き、「住みたい街第四地区」ブランド」を構築して行きたいと考えています。そのため、今年からの活動はこれまでの『見える化』活動から『素晴らしい魅力』を持つ第四地区の『見える化』活動を行なって参ります。今年からは「平成から新年号へ」の新しい時代への幕開けの年です。第四地区住民自治協議会も「新しい魅力」を発信するスタートの年になるよう、皆さまと一緒に頑張ります。

本年も宜しく  
お願い申し上げます。



# パルセイロレディースを 応援に行こう！！ツアー

## 大勢の応援のかいあってパルセイロレディース快勝！！

去る9月24日(月祝)に、「パルセイロレディースを応援に行こう！ツアー」を実施しました。

今年は、第一地区との共同開催とし、35名の参加がありました。

県会議員会館に1時過ぎに集合し、迎えの大型バスに乗って、ウスタジアムに向かいました。

キックオフの約1時間前に到着し、それぞれがスタジアムの雰囲気を楽しみながら、キックオフを待ちました。

3時ちょうどに試合が始まり、前半は相手チームの日本大フェイルズに攻め込まれる場面が多く、やきもきする時間が続きましたが、前半終了間際にFWの齋藤あかね選手の見事なゴールで均衡が破られ、後半開始直後には横山久美選手の目の覚めるようなミドルシュートで2点目を挙げると、その後、滝川結女選手のシュートでダメ押し、見事に3対0で快勝しました。

皆さんの熱心な応援の後押しのためでしょう。

この企画は地区内からスタジアムまでの往復送迎バスに軽食と飲み物が付いて大人500円、子ども300円というお得なものです。毎年欠かさず参加するご家族も複数いるよう



に、毎回大変ご好評を頂いています。

来年も開催して欲しいという多数の要望を頂きましたので、来年の開催も検討してゆきます。まだ参加したことのない方も、ぜひ来年は参加してみてください。

写真左/キックオフ前に参加者全員で集合写真

去る10月15日(月)住民自治協議会の評議委員と民生児童委員合同の研修を実施しました。今年には人権研修を兼ねて、新潟県出雲崎町にある「良寛記念館」を訪れました。良寛は生涯にわたって寺を持たず、貧しいながらも清らかな生き方を通して、子どもを愛する慈愛に富んだ人柄が今でも多くのフア

### 評議委員・民生合同

今年9月27日(木)から1泊の行程で、役員研修を実施しました。

今年度は、金属加工の地場産業を地域の活性化に結び付ける努力をしている新潟県燕市と三条市の数か所を視察しました。両市合計でも長野市の人口の半分以下の地区ですが、行政と民間が共同で一時的のぎではない恒久的な事業を推進している現状を見た役員は、長野市全体で産業と地区の活性化を融合させる方法がないものかと、考えさせられる視察となりました。

### 役員研修



(写真上左)地場産業振興センターでの研修(上右)参加者  
(写真下)良寛記念館で説明を熱心に聞く参加者



# 研修旅行記

役員研修／燕三条地区  
評議委員・民生委員合同研修／良寛記念館

の心を掴んでいます。館長からの説明を熱心に聞いた後、良寛の書などを食い入るように見て、今後の住自協、民生の活動に良寛和尚のような温かい人間味溢れる心を持つてあたって行こうと教わった一日でした。

# 第四地区合同防災訓練



10月13日(土)午前9時半から、後町ホール周辺を使って第四地区合同防災訓練が行われました。

訓練場所まで避難の訓練を兼ねて集合する町もあり、毎年のご事ですが、今年も約85名の参加があり、第四地区の皆さまの防災意識の高さを実感しました。

中央消防署の署員の指導の下、消火器の取り扱い、AEDの取り扱い訓練、消防車の説明などを併せて、後町ホールに併設してこのほど完成した防災備蓄倉庫に常備されているものの紹介がありました。

その後、倉庫にあるものとは違いますが、備蓄食品でもある「オニオンスープ」を試食していただき、災害時の栄養補給に役立つ「えいようかん」を一人一本お土産でお持ち帰り頂きました。

前号でもお伝えしたように、第四地区は水害、土砂崩れ等の発生確率は極めて低い地域ではありますが、大地震はいつどこで発生するかわかりません。3日分の飲料料を備える、「消火器の場所を確認する」、「避難経路を確認する」、「家族間の連絡の仕方を確認する」など、いざという時に備える心構えだけはしていただきたいものです。



写真右上／今年4月に後町ホールに併設された「防災備蓄倉庫」の説明を聞く参加者  
写真右下／後町ホール内でAEDの取扱説明を聞いた後、実際に体験  
写真左上／真剣な表情で消火器取扱訓練  
写真左下／中央消防署常備の中型消防車の装備を一つ一つ説明する署員



## 「道路名称募集」終了しました！

妻科の県庁西からすき亭、うるおい館方面に延びる道(長野西723号)に名前を付けて下さい、の作品募集は10月末日をもって、応募を締め切りました。たくさんのご応募、ありがとうございました！

何と下は4歳から上は90歳までの方々、延べ223名の方から182作品ものご応募を頂きました。

先般、住民自治協議会「道路名称選考委員会」で一次選考、二次選考の慎重な選考会を経て最優秀作品が決定しました。なのに、ここで最優秀作品をなんで発表しないの？とお思いでしょう。実は、ここで作品名を発表したいところなのですが、道路の愛称名は、県の「道路愛称名検討委員会」に申請し、同委員会の審査・承認を経なければ最終決定とならないという事情があります。その結果が出るまで発表することができません。来年の3月には大々的に発表できると思いますので、それまでもう少しお待ち下さい。

**可燃ごみの袋に  
資源となる紙を入  
れないで、資源ご  
み「紙の日」に出す  
ようにしましょう！**

10月26日に、第四地区内のゴミ集積所の巡回を、市の生活環境課と環境部会員の皆さんで実施しました。第四地区内は分別がきちんと行われており、住民の皆さまの意識の高さがうかがわれる結果でした。ただ、ごく一部の可燃ごみ袋に資源化できる紙類(段ボール、雑紙類)が入っているものがありました。段ボールは「紙の日」に段ボールとして区分し、空き箱、包装紙などの雑紙類は「その他の古紙」で「紙の日」に出し、ゴミの適正排出と減量にご協力下さい。

# 恒例の“いきいき交流会”開催される

10月18日(木)、恒例の「いきいき交流会」が犀北館ホテルで開催されました。

この会は、第四地区にお住いの75歳以上の高齢の方を対象に、毎年開催しているもので、年々参加する方が増え続けて、今年は119名の方の参加を頂きました。

会長のあいさつで幕開けし、今年で3年目になる山村(さんそん)歌手の神谷あり子さんの軽妙なトークと、みんなと一緒に歌う懐かしい歌声を楽しみました。その後は、犀北館ホテル「自慢の昼食を頂きながら、中央警察署署員とロボットの「ペッパージ」による特殊詐欺から身を守る方法のお話を聞きました。特殊詐欺は増々手口が巧妙化しており、チヨツと変だなと感じたときは、家族などに相談することが最も大切なことだということを皆さん真剣な眼差しで聞き入っていました。この会は来年も開催予定ですので、お楽しみに。



写真上右左／神谷あり子さんのリードで大きな声で歌う参加者  
写真左／今年4人で参加の神谷あり子さん(左から2人目が神谷さん)  
写真右／中央警察署生活安全課署員と特殊詐欺防止についてお話しするロボットの「ペッパージ」



広告欄

広告欄

広告欄

広告欄